

# 中部電力70年史







日

々

新

に

勝野哲









# 中部電力70年史

## 発刊に当たって

当社は2021年5月1日をもちまして、創立70周年を迎えることができました。これもひとえに、当社事業に対し変わらぬご理解ご支援をお寄せいただいた地域の皆さまをはじめ、お客さま、株主の皆さま、お取引先、協力会社、グループ会社の皆さまなど多くの方々のおかげであり、心から感謝申し上げます。

70年と一口に申しますが、時代は昭和から平成、そして令和に移り変わっています。電気事業も現在「第二の創業期」と言われる大きな変化に直面していますが、当社の70年は時代とともに変化する社会からの期待に対し、時として大変厳しい状況に立ち向かいながら、挑戦し、対応し続け、乗り越えてきた歴史と言えます。

振り返ってみますと、発足当初からしばらくの間は、電力需要が飛躍的に伸び、深刻な電力不足に直面しました。発電所立地や送電線建設に邁進し、安定供給に努めました。この間、当地を直撃した伊勢湾台風では、「復興の原動力はまず電力」を合言葉に、昼夜を問わず復旧作業に心血を注ぎ、80日後には全地域において見事に電力復旧を成し遂げました。

その後の2度にわたる石油危機に対しても、経営安定化と効率化、電源多様化、省資源・省エネルギーに全社一丸となって取り組み、経済成長を支え、地域との共存共栄を推し進めてまいりました。

バブル崩壊による低成長時代に入ると、電力需要も鈍化し、一層の経営効率化を目指し、設備の稼働率向上や延命化、組織・要員のスリム化などを推進しました。また、規制緩和の流れの中、発電事業への新規参入や電力小売自由化が拡大され、安定供給と共に、高度化・多様化するお客さまニーズにお応えし、非価格価値の提供など、引き続き当社をお選びいただけるよう取り組みました。

さらに、福島第一原子力発電所事故を契機に、より一層安定かつ安価な電力供給を実現するための電力システム改革が推進され、電力小売の全面自由化により、厳しい競争時代を迎えました。また、JERAへの燃料・火力発電事業統合に続き、2020年4月には送配電事業を中部電力パワーグリッドに、小売事業を中部電力ミライズに、それぞれ分社しました。各事業会社はそれぞれのお客さま、市場と向き合い、自律的に事業運営するとともに、グループ会社を含めた中部電力グループ

の全体最適を図りながら、安定・安価な供給の一層のレベルアップと地域社会への貢献に努めてまいります。

そして、脱炭素化・デジタル化により社会構造が大きく変化する中、電気は人と人、人と社会を結び、便利・快適な生活とより安全・安心な地域社会の実現に貢献するインフラへ変革していく時代を迎えています。また、再生可能エネルギーなど分散型電源の導入により、地産地消も組み合わせた電力システムによる新たな安定供給と、災害の激甚化に伴い、さらなるレジリエンス向上が求められています。これらに対応するため、当社は新しいビジネスモデルに転換していかなければなりません。

当社は創立以来、中部地域に根差した企業として、安定・安価な電力供給という使命を通じて、地域社会の発展に貢献し、共に成長してきました。その歴史の中で、常に課題に挑戦し、新たな道を切り拓き続けてきました。

新しい時代を迎え、当社に対する社会からの期待も大きく変化しています。その期待に応えるためにも、私たちは挑戦し続けていかなければなりません。さらなる将来を見据えて、「日々新に」という決意のもと、新しい道を切り拓いてまいります。

ここに、創立70周年を記念して「中部電力70年史」を発刊することといたしました。これまで、10年ごとに6冊の社史を刊行してきましたが、これらに続くものとして編纂いたしました。本史では特に、電力システム改革について、背景や経緯、当社の具体的取り組みなどを詳細かつ客観的に記述するとともに、読者の皆さまに現場の臨場感をお伝えできればと思い、随所に当時の経営層や社員のインタビューも掲載しました。事業環境が激変する中、当社が挑戦し続けてきた軌跡について、ご理解を深めていただく資になれば幸いに存じます。

今後とも関係各位の変わらぬご理解ご支援を賜りますことを祈念し、発刊のあいさつとさせていただきます。

2021年5月1日

代表取締役会長 勝野 哲

## 中部電力グループ 企業理念

---

中部電力グループは、  
くらしに欠かせないエネルギーをお届けし、  
社会の発展に貢献します。

---

### 誠意と努力

誠意をもって努力を積み重ね、変わらぬ使命を果たし、  
お客さまや社会からの信頼に応えます。

### 創意と挑戦

創意をもって新たな挑戦を続け、つねに優れたサービスを追求し、  
お客さまや社会からの期待に応えます。

### 自律と協働

一人ひとりが互いを尊重しながら個性を発揮し、協働することで、  
のびやかで力強い企業文化を築きます。



## 中部電力グループ CSR宣言

# 社会からの期待にお応えし責任を果たすために

私ども中部電力グループは、  
エネルギーに関するあらゆるニーズにお応えし、成長し続ける企業グループとして、  
それぞれの個性を活かしながらエネルギーを基軸とした事業に総合力を発揮し、  
安全を最優先に、安定供給を果たすとともに地球環境の保全に努め、  
持続可能な社会の発展に貢献します。

事業運営にあたっては、国内外の法令・ルールを守り、  
企業倫理を重んじて公正・誠実に行動します。

事業活動に関わる全ての方々との相互コミュニケーションを重視し、  
透明性の高い開かれた企業活動を推進します。

### お客さま

安心・便利・安価なエネルギーサービスをはじめ、  
お客さまのニーズに応える価値あるサービスをお届けします

### 株主・投資家

効率経営と効果的投資により、収益の維持・拡大を図ります

### 地域社会

地域社会と協調し、地域の持続的発展に貢献します

### 取引先

事業のパートナーとして対等な立場で公正な取引を行います

### 従業員

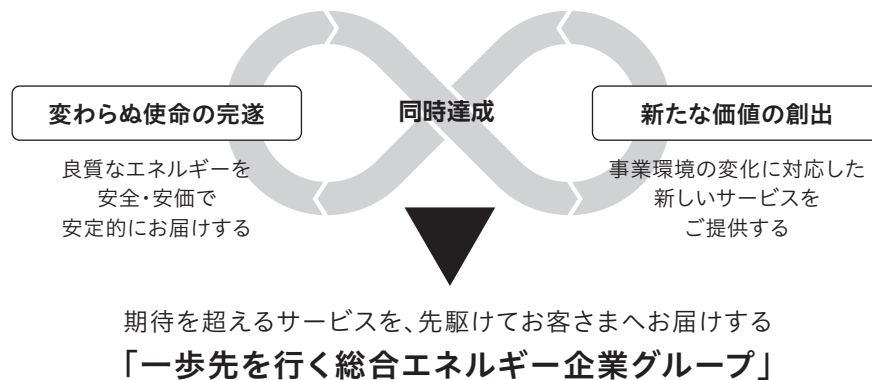
個人を尊重し、明るく働きがいのある職場づくりに努めます



## 中部電力グループ 経営ビジョン

---

中部電力グループは、  
地球環境に配慮した、  
良質なエネルギーを安全・安価で安定的にお届けするという  
「変わらぬ使命の完遂」に努め、  
同時にそれを礎として、時代の変化を見据えた  
「新たな価値の創出」に挑戦し続けることで、  
期待を超えるサービスを、先駆けてお客さまへお届けします。





## コーポレートスローガン

---

# むすぶ。ひらく。

人と人、人と社会をつなぎ、むすびあわせることで、  
この先もコミュニティを支えていきたい。  
そして、人の可能性と未来をひらいていきたい。  
そんな想いをこの「むすぶ。ひらく。」という新スローガンに込めました。

---

## 中部電力の想い

人の暮らしに、「なくてはならないもの」って、何でしょう？

例えば、明るさ。例えば、あたたかさ。安全であること。きれいな環境。  
でも、それだけではありません。  
人と人とのつながり。楽しみ。笑うこと。感動すること…。  
そんな心の満足だって、なくては人は生きていけない。

中部電力グループはこれまで、「エネルギー」を通して、  
くらしや社会を支える企業でした。  
でも、これから先は、それだけではありません。  
エネルギーを確かにお届けする、そのことに注いだ情熱を、  
「気持ちの通うもの」「心わきたつもの」へとひろげていきます。

そのために、私たちがしたいこと。  
人と人、人と社会をつなぎ、むすびあわせ、  
この先も、一緒に笑顔でいられるようなコミュニティを支える存在になる。  
そして、人の可能性と未来をひらいていく。

「むすぶ」と「ひらく」。  
明日に、未来に、なくてはならないものをお届けする。  
もっときめ細かく、もっとくらしや心のそばにいて。

これが、私たちのお客さまへの約束です。





中部電力株式会社  
代表取締役会長  
勝野 哲

中部電力株式会社  
代表取締役社長  
林 欣吾

## 事業体制

---

### 持株会社

---



中部電力

中部電力株式会社  
Chubu Electric Power Co., Inc.

#### 事業内容

---

- ・ グループ経営管理
- ・ 原子力事業
- ・ 再生可能エネルギー事業 等

### 送配電事業会社

---



中部電力パワーグリッド

中部電力パワーグリッド株式会社  
Chubu Electric Power Grid Co., Inc.

#### 事業内容

---

- ・ 一般送配電事業 等

### 販売事業会社

---



中部電力ミライズ

中部電力ミライズ株式会社  
Chubu Electric Power Miraiz Co., Inc.

#### 事業内容

---

- ・ 電気販売事業
- ・ ガス事業 等

### 燃料・発電事業会社

---



株式会社 JERA（持分法適用会社）

※ 東京電力フュエル&パワー株式会社と折半出資

#### 事業内容

---

火力発電事業、再生可能エネルギー事業、ガス・LNG事業、  
これら各事業に関するエンジニアリング、コンサルティング 等



## 目次

口絵(書) 代表取締役会長 勝野 哲

発刊に当たって 代表取締役会長 勝野 哲

中部電力グループ 企業理念

中部電力グループ CSR宣言

中部電力グループ 経営ビジョン

コーポレートスローガン

会長・社長

事業体制

### ■ 創立から60年の概観

第1章 復興から発展への10年	17
『電力の鬼』松永安左エ門翁と中部電力誕生前史	28
第2章 高度経済成長を支えた電力	31
第3章 石油危機を乗り越えた電力	41
第4章 電源開発の多様化と積極経営	51
第5章 競争時代の到来と経営変革の推進	61
第6章 経営効率化と環境保全	73

■ 特別企画 東日本大震災への対応を振り返る 89

## この10年のあゆみ

<b>第1編 経営環境の劇的な変化</b> .....	104
各章サマリー .....	106
第1章 電力・ガスシステム改革の背景とその内容 .....	108
第1節 電力・ガスシステム改革の背景 .....	110
第2節 エネルギー動向 .....	111
第3節 日本のエネルギー政策 .....	116
第4節 再生可能エネルギーの普及促進 .....	120
第5節 電力システム改革 .....	124
第6節 ガスシステム改革の概要 .....	135
第2章 電力・ガスシステム改革に向けた取り組み .....	138
第1節 事業運営体制の変更 .....	140
第2節 分社化後の新たなブランド .....	146
<b>第2編 中部電力グループ経営ビジョンの策定</b> .....	150
各章サマリー .....	152
第1章 中部電力グループの目指す姿 .....	154
第1節 中部電力グループ経営ビジョンの策定の経緯 .....	156
第2節 中部電力グループ経営ビジョンの概要 .....	159
第3節 経営ビジョンを実現するための経営計画 .....	162
第2章 中部電力グループの事業モデル確立 .....	166
第1節 発電分離 .....	168
第2節 新成長分野の事業化加速 .....	171
第3節 低炭素社会の実現 .....	172
第4節 新たな時代の安定供給 .....	175
<b>第3編 エネルギーの需給</b> .....	180
各章サマリー .....	182
第1章 電力需要の推移と電力需給 .....	188
第1節 電力需要の推移 .....	190
第2節 電力需給構造の変化 .....	191
第3節 広域運営と電力融通 .....	195
第4節 電力取引の実施 .....	198
第2章 電源開発の取り組み .....	202
第1節 電源開発をめぐる情勢 .....	204
第2節 火力電源の開発 .....	208
第3節 水力電源の開発 .....	212
第4節 その他の再生可能エネルギーの開発 .....	224
第3章 原子力発電における安全性・信頼性の確保 .....	232
第1節 浜岡原子力発電所を取り巻く情勢 .....	234
第2節 更なる安全性の向上を目指して .....	248
第3節 原子燃料サイクル事業の推進 .....	254
第4節 原子力への信頼回復に向けた理解活動 .....	258



第4章 火力・再生可能エネルギー発電の安全性・信頼性確保と効率化	266
第1節 火力発電の安全性・信頼性確保と効率化	268
第2節 再生可能エネルギー発電の安全性・信頼性確保と効率化	280
第5章 流通設備の高度化と効率化	298
第1節 送変電設備の高度化と効率運営	300
第2節 配電設備の高度化と効率運営	317
第3節 通信設備の高度化と効率運営	330
第4節 系統運用の高度化と効率運営	336
第5節 レジリエンスの強化	348
<b>第4編 エネルギーの販売および各種事業推進</b>	356
各章サマリー	358
第1章 エネルギー販売活動の展開	362
第1節 販売情勢と販売方針	364
第2節 積極的な販売活動の展開	368
第3節 販売拡大に向けた他社との提携	378
第4節 ガス・LNGの販売およびオンサイトエネルギーサービスの提供	382
第5節 業務運営の効率化と品質管理の徹底	386
第2章 電気料金の改定	390
第1節 電気料金をめぐる情勢	392
第2節 2014年5月料金改定	393
第3節 新料金メニューと首都圏エリアでの販売	394
第3章 燃料事業および海外事業の取り組み	396
第1節 グローバルバリューチェーンの形成	398
第2節 海外投資事業	403
第3節 海外コンサルティング事業	407
第4節 海外技術協力・国際交流	411
第4章 新しいコミュニティの形の提供	416
第1節 新規事業を取り巻く社会・産業構造の情勢	418
第2節 コミュニティサポートインフラの創造	420
<b>第5編 地球環境の保全</b>	430
各章サマリー	432
第1章 地球環境保全への取り組み	434
第1節 地球環境問題をめぐる情勢	436
第2節 当社における取り組み	441
第2章 各部門における環境対策	452
第1節 原子力部門における取り組み	454
第2節 火力部門における取り組み	457
第3節 再生可能エネルギー部門における取り組み	460
第4節 送配電部門における取り組み	464
第5節 販売部門における取り組み	466

<b>第6編 経営基盤の強化</b> .....	470
各章サマリー.....	472
<b>第1章 グループ経営</b> .....	480
第1節 事業開発の状況.....	482
第2節 グループ事業体制の強化.....	484
<b>第2章 いきいきと働くことができる職場づくり</b> .....	490
第1節 雇用・労働をめぐる情勢.....	492
第2節 効率化への対応.....	493
第3節 ライフ・ワーク・バランスの推進.....	496
第4節 人材育成施策の展開.....	502
第5節 社屋などの整備.....	510
<b>第3章 トヨタ生産方式導入による生産性向上の取り組み</b> .....	514
第1節 導入の背景と目的.....	516
第2節 電力ネットワークカンパニーにおける先行導入.....	518
第3節 全社導入とグループ会社への展開.....	520
第4節 具体的な取り組みとTPSがもたらした成果.....	522
<b>第4章 資材調達ならびに資金調達・経理状況</b> .....	528
第1節 資材調達をめぐる情勢.....	530
第2節 資機材の戦略的な調達.....	531
第3節 資金調達をめぐる情勢.....	536
第4節 安定的かつ低利な資金調達の推進.....	539
第5節 株主・投資家の理解促進.....	542
第6節 経理状況の推移.....	543
<b>第5章 多様化するリスクへの対応</b> .....	550
第1節 コンプライアンス.....	552
第2節 訴訟への対応.....	556
第3節 防災・危機管理体制の充実・強化.....	557
第4節 サイバーセキュリティの確保.....	568
第5節 コーポレート・ガバナンスの強化.....	570
<b>第6章 戦略的かつ効率的な業務遂行を支えるIT</b> .....	576
第1節 ITを取り巻く情勢.....	578
第2節 ITシステム整備.....	581
第3節 新たな時代への挑戦.....	589
<b>第7章 明日に挑む技術研究開発</b> .....	596
第1節 技術研究開発への取り組み.....	598
第2節 技術研究開発の成果.....	603
第3節 技術研究開発の展望.....	619
<b>第8章 地域・社会への貢献</b> .....	622
第1節 地域の安全・安心の確保.....	624
第2節 環境保全.....	625
第3節 次世代教育支援.....	626
第4節 文化・スポーツ活動.....	630
<b>資料・年表</b> .....	635



## 凡 例

---

1. 本書の構成は、本文、資料・年表からなっている。  
本文……「創立から60年の概観」は、既刊の年史を基に再編集して記述した。  
「この10年のあゆみ」は、2011年5月から2021年4月までを対象としたが、統計等については、2011年度から2020年度までとした。  
資料…… 創立から60年間のデータの記載は、原則として5年間隔とした。  
年表…… 2011年5月から2021年4月までを対象とした。
2. 人名は、すべて敬称を省略し、肩書きは、記述内容当時のものを用いた。  
会社名は、(株)〇〇、〇〇社とするなど、簡略的な表現とした。
3. 用字および用語は、当社の「情報管理手引」によった。したがって、原則として常用漢字を用いたが、引用文、固有名詞、専門用語などについては例外とした。
4. 数字は、原則としてアラビア数字とし、漢字の億、万などの組み合わせを用いた。
5. 度量衡は、計量法に従い、単位の表示は、kV、kVA、kW、kWh、kl、g、mなどの記号を用いた。
6. 年号は、原則として西暦とした。